

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

気仙沼地区みやぎ農業未来塾を開催（気仙沼地方振興事務所農業振興部）

令和5年11月16日、宮城県本吉響高校2年生の農業専攻7名を対象に、農業への理解・関心を深め、職業選択の一助とすることを目的として、今年度2回目の「気仙沼地区みやぎ農業未来塾」を開催しました。

今回は、管内の主要品目であるいちごをテーマに取り上げ、当部から生産状況や栽培管理について講義し、その後、生産者である階上いちご第2復興生産組合の佐藤友耶氏から実習の説明を受けてランナー（蔓のように伸びる茎）を取る作業を行いました。実習では、ランナーがうまく取れずに戸惑う生徒がいましたが、コツを覚えると作業スピードが上がり短時間で終了しました。

佐藤友耶氏は、同校の出身であり、先輩から就農した経緯や農業経営について直接話を伺う機会にもなり、有意義な研修となりました。



栽培管理の説明を受ける生徒



実習（ランナー取り）の様子

地域計画策定に向けたワークショップを開催（気仙沼地方振興事務所農業振興部）

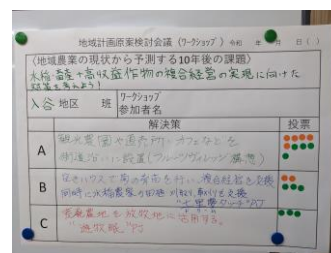
農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律の施行により、市町村は令和7年3月までに将来の地域農業の姿を描いた「地域計画」を策定することになり、当管内では、気仙沼市が7地区、南三陸町が4地区で計画を策定する予定です。

当部では、計画策定が円滑に進むように、市町に継続した支援を実施しており、令和5年度は、南三陸町の入谷地区を地域計画推進モデル地区に設定し、計画策定に向けたワークショップを11月に2回開催しました。

ワークショップでは、参加者から、地域の課題解決策として、①観光農園や直売所等の設置、②空きハウスの有効活用や水稲作業の相互扶助、③荒廃農地を放牧地として活用 等のアイデアが出されており、今後、「地域計画」の素案を作成し、地域の農業者等を対象としたプレゼンテーションを行い、計画のブラッシュアップを図る予定です。



ワークショップの様子



ワークショップでのアイデア

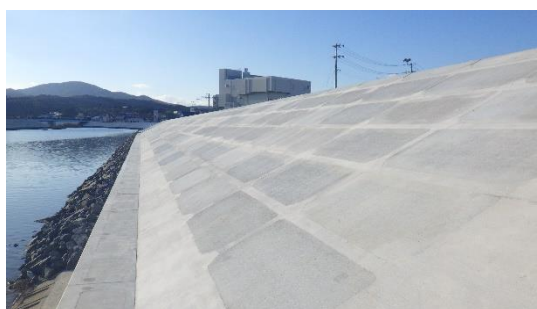
東日本大震災による災害復旧工事が完了！(気仙沼土木事務所)

気仙沼土木事務所では、東日本大震災による災害復旧事業（管内187箇所）の完遂に向け事業を進め、残りは大川水系の二級河川神山川の河川災害復旧1箇所（約200m）となっております。令和5年9月には河川堤防部分の整備が完成、令和5年12月には堤防に隣接する付替道路等の整備も完成し、当箇所の完成により東日本大震災による県内全ての災害復旧工事が完了を迎えることとなりました。

長期間に渡り地域の方々にはご不便・ご心配をおかけしてきましたが、堤防が完成したことにより、水害発生時の治水安全度の確保、津波発生時の浸水被害の軽減など、安全・安心で快適なまちづくりの実現に大きく前進しました。



東日本大震災災害復旧事業の完遂工区
(大川(神山川)河川災害復旧工事)



左岸下流側(空撮写真の右下側)から望む

令和5年度スマイルサポーター感謝状贈呈式を開催しました(気仙沼土木事務所)

県では、県が管理する道路・河川・海岸・港湾において、清掃や除草、花壇への植栽などの活動を定期的に行い、良好な環境づくりに積極的に取り組むボランティア団体や企業等をスマイルサポーターとして認定し、市町村と協力して必要な支援を行っています。

気仙沼土木事務所管内では道路25団体、河川10団体、海岸3団体、港湾2団体の計40団体に活動していただいております。当事務所管内のスマイルサポーター5団体に対し、長年に渡る道路美化活動への感謝の意を表して、令和5年10月3日に県から感謝状を贈呈しました。

【令和5年度被表彰団体】(敬称略)

桜沢愛林組合(南三陸町)、坊の倉振興会(気仙沼市)、株式会社ガイアート気仙沼営業事務所(気仙沼市)、株式会社東北リアライズ(仙台市)、MURACOグループ(気仙沼市)



活動の様子(東北リアライズ様)



活動の様子(ガイアート気仙沼営業事務所様)



贈呈式集合写真

化粧坂道路改良(その4)工事に着手します (気仙沼土木事務所)

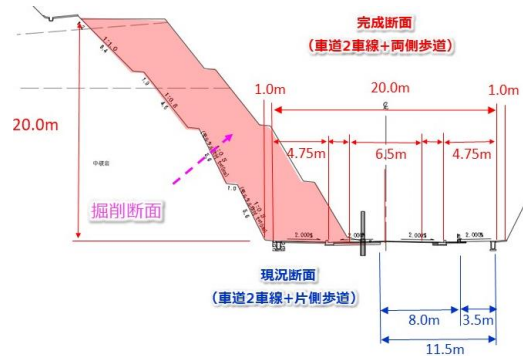
主要地方道気仙沼唐桑線の化粧坂工区は、急勾配・急カーブが続き、大型車のすれ違いが困難であったことから、安全で円滑な交通を確保するため、平成26年度より道路改良事業を進め、令和5年2月に、事業延長L=460mのうちバイパス区間L=320mの暫定供用を開始しました。

継続工事となる【化粧坂道路改良(その4)工事】には、令和5年12月より着手し、バイパス区間の完成断面確保のための法面掘削と、現道拡幅区間の整備を行うこととしております。

化粧坂工区の日でも早い全線供用開始に向けて鋭意工事を進めてまいりますので、今後とも皆様の工事へのご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。



空撮写真 (本町橋側より撮影)



断面図

結核予防対策研修会を開催しました (気仙沼保健福祉事務所)

「結核」というと、どのようなイメージをお持ちでしょうか。昭和20年代まで「亡国病」と恐れられた結核も、今では生活水準と医療の向上により、「薬を飲めば治る病気」となりました。しかし、日本では、今でも1年間に1万人以上結核を発症しており、高齢者と外国人の結核感染が大きな課題となっています。

水産業を基幹産業としている気仙沼管内の地域の特性として、漁船の船員や水産業の技能実習生等の外国人が多く滞在しています。そこで、技能実習生等を支える関係機関の方々を対象とした結核予防対策研修会を10月2日に開催しました。公益財団法人結核予防会結核研究所の座間智子氏に「外国人を受け入れる団体における結核対策」についてご講演いただき、参加者からは「結核のイメージが違った」「きちんとした知識を持ち、変に怖がらず、しっかり対策や治療をすることが大切だと感じた」等の声が寄せられました。



研修会の様子



技能実習生は管内の産業を支える貴重な存在

地域包括ケア住民フォーラムを開催しました（気仙沼地区地域医療委員会）

令和5年11月25日、地域包括ケアを広く普及啓発することを目的に『地域包括ケア住民フォーラム～おうちっていいよね～』を開催しました。本フォーラムは、気仙沼地区地域医療委員会が主催、管内市町・医師会ほか関係団体の共催により、平成25年に始まり、9回目となります。今回は『地域包括ケアシステム』をテーマに、気仙沼保健所より地域包括ケアの概要を説明した後、気仙沼市、南三陸町、気仙沼市立病院、南三陸病院、宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部、気仙沼歯科医師会、気仙沼薬剤師会より各機関における取組をお話ししました。多くの住民の皆さんにお越しいただけるよう、会場を2カ所設け、また、事前に申し込まれた方に後日配信しています。当日の様子は、気仙沼保健福祉事務所内のホームページでも御紹介しています。



地域の「取組」についてお話いただきました



住民の皆さんと交流も行いました

Let's 植林！！松岩小学校の植林活動を支援しました

（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

令和5年10月30日に、一般社団法人松岩愛林公益会ほか地域の林業関係者（気仙沼市森林組合・有限会社早稲谷）の協力の下、毎年度実施されている、松岩小学校の5年生（計51名）の植樹活動を支援しました。当部からは、植林のデモンストレーションを行うとともに、山がしっかりと管理されなければ、川や海で生きている魚や貝などの生き物も捕れなくなってしまうなど、森林の持つ機能や重要性を説明したところ、児童達は熱心に頷きながら聞いていました。

当日は、クヌギ、コナラ、エノキの3種類の広葉樹を植林しましたが、木の根が入り組んでうまく植えられなかったり、無事に植えたが締め固めが不十分で直ぐ抜けてしまうなど、児童たちは悪戦苦闘しながらも、普段あまり触れる機会がない土に触れて楽しみながら植栽をしていました。なお、毎年お世話をして頂いている森林組合の皆さんによると、今年度の植栽はトップクラスの出来ばえだったそうです。



植林デモンストレーション



植林状況



植林完成

ガンカモ類生息調査について（11月調査）

（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

宮城県では、昭和44年度から冬鳥であるガンカモ類の生息調査を行っており、令和5年度も1回目となる11月調査を行い、飛来初期の冬鳥の観測を実施しました。今年度は暖冬の影響があり、ガンカモ類の飛来数の減少が見られ、気仙沼管内も1回目調査ではカモ類やハクチョウの観測数はまだまだ少ない様子でした。

気仙沼湾や志津川湾では、今年も国の天然記念物であるコクガンの飛来が確認できました。コクガンは首の白い模様が特徴の海のガンで、県内でもあまり見ることができない水鳥です。

今後、1月の飛来最盛期にかけて多くの水鳥達の飛来が予想されます。是非一度足を運んで観察してみたいはいかがでしょうか。また、野鳥を観察する際は、むやみに驚かしたりせずにあたたかく見守ってください。



マガモの群れ



飛来したコクガン

気仙沼市産メンマがついにラーメンデビューしました！

（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

令和5年10月8～9日の2日間の限定で、塩竈市の^{なごみどころ}和み処「男山」様において開催された限定イベントの特別メニューとして、気仙沼市産メンマを使用したラーメン「伊達の潮一極」が2日間計140食提供されました。当日は、気仙沼のメンマ生産者とともに、提供状況を確認するためイベントに参加しました。

今回のイベントは、「俺らの宮城飯」をコンセプトに、宮城県内をはじめ“奥州”の食材をPRすることを目的として開催されたもので、主催者である「ラーメンカラテキッド」様が県HPを通じて気仙沼市産メンマづくりの取組を知っていただいたことがきっかけで、今回の特別メニューでの使用が実現しました。

試食後に主催者と意見交換を行ったところ、普段調理している外国産のメンマよりも身がしっかりしており、質も良いとの高評価をいただき、生産者の励みになりました。

なお、イベントは完全予約制で、あっという間に完売し大盛況でした。



限定メニュー（ラーメン+はらこ飯）



伊達の潮一極



イベント主催者様

気仙沼市産業まつりで林業 PR ブース出展しました

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

令和5年10月22日(日)に第37回気仙沼市産業まつりが開催され、新型コロナウイルスの影響で取りやめていた林業部会の目玉企画「餅蒔き」・「親子木工教室」の復活にあわせて、林業振興部でも、「特用林産物の試食(しいたけの唐揚げ・きくらげの天ぷら・気仙沼産メンマ)」・「なりきり林業キッズコーナー」・「高性能林業機械ミニカー展示」・「林業 PR 動画の上映」等、多岐にわたった PR ブースを設けました。

当日は、想定を超える入場者のため、実施予定であったドローン操縦体験は安全を考慮して中止しましたが、トイチェーンソーや高性能林業機械ミニカー等のおもちゃは、子供達に大人気で多くの子供達に、なりきり林業体験をしてもらいました。これからも、様々なイベントに参加して、林業の PR や試食品の提供をしていきますので見かけましたら是非お立ち寄りください。



林業振興部ブース状況



なりきり林業キッズ



高性能林業機械ミニカー

みやぎ地域づくり団体協議会研修会が開催されました！

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

令和5年11月17日~18日の2日間、令和5年度みやぎ地域づくり団体協議会研修会が開催されました。県内の地域づくり団体や地域で活躍されている皆さんが一堂に会し、「みやぎの自然を100年後の未来につなぐために」というサブテーマのもと地域づくりについて考えを深める時間となりました。

研修会では当支部副会長の(一社)南三陸 YES 工房大森代表理事の講話のほか、(一社)サステイナビリティセンターの太齋代表理事をコーディネーターに、当支部長の気仙沼大川桜並木を保全する会橋本代表のほか、各支部会員の皆様によるパネルディスカッションで地域づくり活動のこれらについて熱い議論が交わされました。

今後も県内の地域づくり団体の皆さんの交流を深めながら、地域づくり活動の活性化を目指して取り組んでいきます。



講演の様子



南三陸 311 メモリアル見学の様子